

コイ春ウイルス血症 (SPRING VIRAEMIA OF CARP : SVC) とは

- 1 原因（病原体） SVCウイルス（SVCV）
- 2 感受性魚種 コイ、ソウギョ、ハクレン、コクレン、フナ、キンギョなどのコイ科魚類が主な宿主。
- 3 症状 腹部膨満、体表及び筋肉内の点状出血、眼球突出などが見られ、死亡率が高い。
- 4 感染経路 コイ春ウイルス血症に感染したコイ、キンギョ、ハクレン、コクレン、ソウギョ等との水を介しての接触により感染する。
- 5 発症水温 水温が7℃を超えると発病し、10～15℃で最も被害が大きい。22～23℃を超えると発病しない。
- 6 潜伏期間 7～15日
- 7 主な発生国 ヨーロッパ諸国、アメリカ合衆国
- 8 治療法 現在のところ有効な治療法はない。
- 9 その他 コイ科魚類を主な宿主とする病気であって、人への感染はない。
本病は、①水産資源保護法（昭和26年法律第313号）における輸入防疫対象疾病（コイ等を輸入するためには農林水産大臣の許可が必要）であるほか、②持続的養殖生産確保法（平成11年法律第51号）における特定疾病に指定されており、発生した場合には、同法に基づく、まん延防止措置（移動制限、焼却等）の対象になる。